



農業立『穀』あいち ～あいちブランドを支える大豆のスマート生産・加工～

グループ名: スマートアグリ

メンバー: 金居哲也、後藤浩嗣、本多啓亮

チューター: 窪田光宏、東海林孝幸、西田美紀

現状の把握

➤ あいちの食文化 ⇒ 「味噌」 ⇒ **大豆** に着目

- 大豆(国産)生産量予測 …減少 ← 農業従事者減
- 味噌の世界的需要 …増加 ← 日本食価値拡大

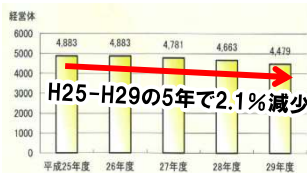


図: 愛知県認定農業者数の推移

図: 味噌の輸出額・輸出量推移

食文化を支える大豆生産量が減少してしまう

20年後に向けての提言の概要

産官学+NPO連携の発展型農業法人
「あいち畑2040」を立上げ、大豆を増産へ

- 『特徴』
- ✓ 生産、加工、販売まで含めた6次産業化経営
 - ✓ 遊休・荒廃農地の活用と機材リースモデル
 - ✓ 農業大学を中心としたスマートアグリ技術開発と浸透

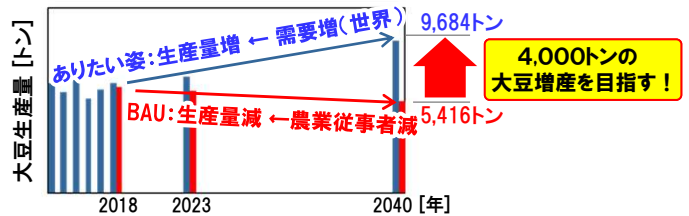
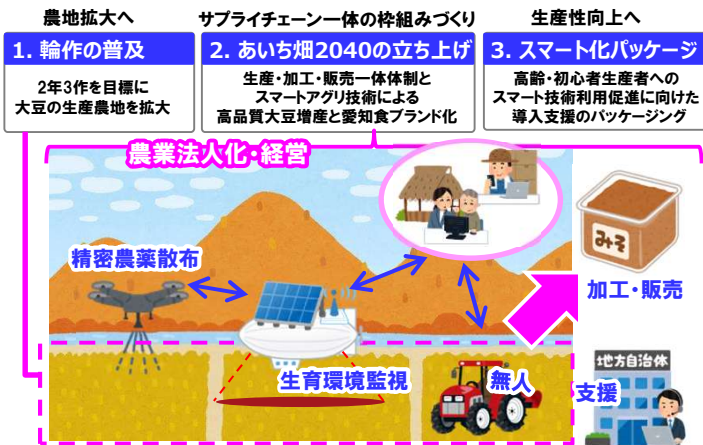


図: 大豆生産量の予測とありたい姿

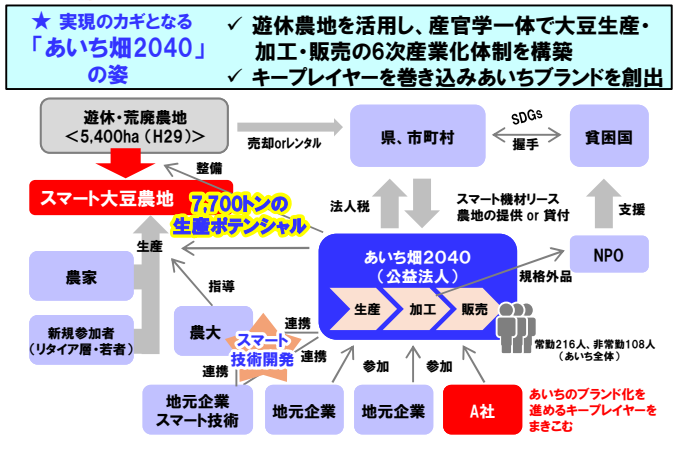
提案の内容

大豆増産へのアクションプラン



提案実現のための具体的な取組

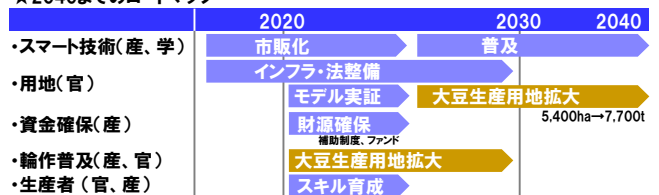
(アクションプラン) と実現可能性



- ★ 技術浸透を促進する「スマート化パッケージ」
- ✓ 農村単位の情報化パッケージでシステム・機器導入、利用を効率化
 - ✓ 高齢者、初心者でも利用可能に教育支援

期待されるスマート技術例 ... ■飛行船型ドローン ■精密農業散布 ■水管理システム ■雑草排除マシン ■圃場管理システム ■5G高速通信

★ 2040までのロードマップ



波及効果

- ・「あいち畑2040」で生産された高品質ブランド大豆、あいちブランド加工品を海外に輸出し、「あいち畑」の活性化を世界へ発信!
- ・収穫の際に発生する規格外の大豆や輪作で作成した米や麦を安価で飢餓に瀕している国へ食料支援を日本、ひいては愛知県が行うことができる!